

# 知っておきたい年金のこと



## 保険料の免除が一部である方は、残りの保険料を納付する必要があります

収入がない、もしくは少ないために保険料の支払いができないときには、申請により保険料の全額または一部が免除されます。免除された分の保険料は、10年以内であれば後納することもできます。(2年を過ぎると加算額が付きまます。)

ただし、一部免除の場合、承認を受けている期間の保険料は、免除されていない分の保険料を各発生月から2年以内に納付しなければ、承認が取り消されて「未納の扱い」となります。免除されていない分の保険料を2年以内に支払って、はじめてその月の一部免除が確定しますので、ご注意ください。

### 各免除の段階と納める額

#### ●全額免除

保険料の全額が免除されます。ただし、全額免除を受けていた期間の分は、将来受け取れる年金額が全額の2分の1となりますので、可能な場合は後納しましょう。

#### ●4分の3免除

保険料の4分の3の額が免除され

ますので、残りの4分の1の額を、免除の発生月から2年以内に納めましょう。

#### ●半額免除

保険料の半額が免除されますので、残りの半額を、免除の発生月から2年以内に納めましょう。

#### ●4分の1免除

保険料の4分の1の額が免除されますので、残りの4分の3の額を、免除の発生月から2年以内に納めましょう。

#### ※免除の判定基準

ご本人、配偶者、そして同一世帯の世帯主についての所得制限(収入審査)があり、毎年度の申請が必要ですが、ただし、基準所得を超えていても、災害・失業・事業の廃止などの理由により、免除になる場合もあります。

詳しくは、旭川年金事務所(0166-27-1611) または役場保健福祉課戸籍担当までお問い合わせください。

保健福祉課戸籍担当  
電話 56・2123

## もしもの災害に備えて

### 地震が起きたら・・・

地震が起きた時、とっさの判断は難しいものです。日頃から、いざという時の行動を確認しましょう。

- ① まず、身を守る  
机の下などにもぐり、身を守りましょう。
  - ② 安全を確認して火の始末  
コンロなどの火を消す(火が出ても落ち着いて初期消火しましょう)。
  - ③ 出口を確保  
家が傾いてドアが開かなくならないように、すばやく窓や扉を開けましょう。
  - ④ わが家の安全確認  
火災、家屋倒壊の危険やガス漏れなどを確認しましょう。
  - ⑤ 情報確認  
近所の人と声をかけ合って安全を確かめ、正確な情報を集めましょう。
- 危険なら避難所へ！
- ▼ 動きやすい服、ヘルメット、底の厚い靴。
  - ▼ 家族への連絡メモを残す。
  - ▼ ガスの元栓を締め、電気のブレーカーを切る。
  - ▼ 火の元の確認と消火。

## 占冠村の放射線量の状況 (1月)

測定日 1月9日

【単位：マイクロシーベルト】

測定場所	測定時間	天候	測定値	測定場所	測定時間	天候	測定値
占冠中央小学校グラウンド	10:40	晴れ	0.037	占冠へき地保育所グラウンド	10:50	晴れ	0.032
双民館グラウンド	11:05	晴れ	0.037	トナム小中学校グラウンド	15:10	雪	0.032
占冠地域交流館グラウンド	11:25	晴れ	0.036	トナムへき地保育所グラウンド	15:25	雪	0.037

※北海道の空間放射線率モニタリング結果(上川総合振興局0.0209~0.0780)と比較して平常レベルと判断されます。

「北海道の空間放射線率モニタリング結果」は、下記のホームページで公開されています。  
「北海道放射線モニタリング総合サイト」 <http://monitoring-hokkaido.info/>

■お問い合わせ 総務課総務担当 電話56-2121



### 平成27年 占冠消防出初式



平成27年1月5日(月)、富良野消防署占冠支署において平成27年占冠消防出初式が職団員、来賓など約70名が参加して挙行されました。

冬晴れの空のもと、職団員は消防庁舎前に整列し中村博村長、原一志消防長、来賓の方々の観閲を受けました。

式典においては、永年にわたり地域防災に貢献してきた職団員の功績に対し、富良野広域連合長などから表彰状の授与並びに感謝状の贈呈がされました。

最後に職団員一同で占冠神社を参詣し、今年一年の無火災を祈願して終了しました。

平成27年も「災害の無い街・占冠」を目指して活動してまいりますのでよろしくお願いたします。



自分の地域は自分で守る！  
消防団員募集!!  
詳細は庶務係まで  
電話56・2119

救急出場状況 (12月分)		
交通事故	4件	(12人)
一般負傷	5件	(5人)
急病	7件	(7人)
転院搬送	1件	(1人)
12月計	17件	(25人)
累計	150件	(155人)

※ ( )内は搬送人員

富良野広域連合 富良野消防署占冠支署 ☎56-2119

豪雪で身動きが  
取れなくなったら

降雪地域では、突然の豪雪に見舞われ身動きが取れなくなり、車内に閉じこめられる恐れがあります。気象情報で暴風雪が予想されるときは、クルマでの外出はできるだけ避けるのが賢明ですが、万一に備えて車内には防寒着、長靴、手袋、スコップ、牽引ロープなどを常備しておくといいたいでしょう。また、厳寒時のガス欠は場所によっては極めて危険です。出かける前にガソリンの残量を確認し、常に余裕を持って入れておきましょう。

もし身動きが取れなくなったら、直ちに道路緊急ダイヤル(9910)や、JAFに救援(#8139)を求めます。状況によっては警察へ通報してください。

吹雪のなかで停車すると、ものの数分でクルマ全体が雪で覆われていきます。いつでも脱出できるように、風下側のドアが開くかどうか定期的に確認しながら救援を待ちましょう。

また、マフラーの排気口が雪でふさがれると排気ガスが室内に流入し、一酸化炭素中毒の危険が高まります。クルマには一酸化炭素などの有害物質が発生しないよう排気ガス浄化装置が装着されていますが、触媒は内

村民の願いです  
続けよう交通事故死 0 の日  
平成19年2月21日から

2891日

SS 平成27年1月20日現在

交通安全  
SAFTY DRIVE

部温度が一定以上に上昇しないと機能しないため、外気温が低い状態でのアイドリングでは一酸化炭素などが排出される危険性も高まります。排気ガスの逃げ道だけでも除雪しましょう。救援を待つ間に完全に雪に覆われたら、エンジンを停止します。意外かも知れませんが、雪に覆われてしまうと外気ほど温度は低下しないものです。こうした場合に備え、暖が取れる毛布などを常備しておくのが賢明です。窒息しないよう、ときには風下側のウインドを1センチメートル程度開けて換気を心がけ、救援を待ちましょう。

### 歩行者の無謀な横断 禁止!

冬道では除雪作業で生じた雪が路肩に積み上げられ、歩行者を確認しにくくなります。歩行者の急な飛び出しは、急ブレーキによるスリップ事故の原因にもなります。歩行者の皆様は車が来ているときは絶対に横断しない、押しボタン信号機を活用するなどして無謀な横断を避けましょう。